

学校関係者評価報告書

学校法人 福田学園
大阪工業技術専門学校
自己点検・評価委員会
学校関係者評価委員会

学校法人福田学園 大阪工業技術専門学校(自己点検・評価委員会)が実施した令和元年度自己点検・評価表に基づき、下記日時に開催した『学校関係者評価委員会』に於いて以下の意見と評価がありました事を報告致します。今後は、この評価委員から頂きました意見等を真摯に受け止め、より良い学校運営と教育に努めて参ります。

- 開催日時:令和2年9月4日(金) 15:00～17:00
- 場 所 :学校法人福田学園(1号館3階大会議室)
- 学校関係者評価委員 出席者

【評価委員】	所 属	役職等
松山義広	奈良県立吉野高等学校	建築工学科長
延安浩二 (代理:中信明人)	株式会社金山工務店	執行役員 (常務取締役)
河野正道	住友精密工業株式会社	総務人事部人事G アシスタントマネージャー
木口特次	卒業生	建築学科(昭和51年卒)
【内部委員】	所 属	役職等
伊東和幸	大阪工業技術専門学校	副校長
浜野哲二	大阪工業技術専門学校	事務部長
宗林 功	大阪工業技術専門学校	教務課長
吉田裕彦	大阪工業技術専門学校	企画開発局長
堀部達夫	大阪工業技術専門学校	ロボット・機械学科長
吉松秀典	大阪工業技術専門学校	広報担当課長
善才雅夫	大阪工業技術専門学校	進路支援室長

◆評価委員の意見と評価

A:十分に満足できる(3点) B:満足できる(2点) C:やや不十分である(1点) D:不十分である(0点)

項 目	評価委員の意見等	総合評価 (平均値)
【基準1】 教育理念・目的・育成人材像	学校の特色として、文科省の委託事業(Society5.0)を受託され、コネクテッドホームの実証授業を受けられた建築系・機械系の両分野の学生にとっては、良い経験になった事と思います。これから求められる情報社会にも対応でき得る両分野を跨いだ人材の育成に期待します。是非とも、カリキュラムへの落とし込みの検討をお願い致します。	3
	また、併せて社会のニーズに応えられる特色を打ち出して頂きたい。	
	時代が求める資質・能力を的確にとらえ、産業界と連携しながら、専門的・実践的なカリキュラムを実践しておられ、このまま継続して頂きたい。	
	学園が校友会という位置付けを重要視していることにOBとして喜ばしい事である。	
	専門学校として永年の歴史を持ち、業界で活躍する人材も数多く輩出されている。	
	今後も様々な環境変化を捉えつつ、企業と連携を強化し、各業界に於いて明日を支える人材の育成に尽力頂きたい。	
	専任教員の採用については、まず非常勤講師としての実務経験の中で、資質を確認しながら定期的に採用をされているのは、学校と言った教育の場では必要な事であり評価に値すると思われま。ただ事務職についても、高齢化が進みつつある現状であれば、一般的な求人による採用でも可能ですので、計画的に進めてください。	

<p>【基準2】 学校運営</p>	<p>学校運営に必要な人材の確保および育成は行われているようなので、今後は「働き方改革」の様々な取り組みを実践し、個性と可能性を最大限に発揮する事で人・組織のパフォーマンス向上に繋げて頂きたい。</p> <p>学校評価システムが確立されており、システムの運用・改善の実施に至るまで、有効的に機能している。評価から改善へのプロセスが、着実に実施されている。</p> <p>持続的な・発展的な学校経営が可能となるように新たな部署を設け、中長期的視野に立った良い運営をされていると思います。</p> <p>建築物に占める割合が大きい設備関係の学科がなくなることは残念で、今後は設備関係の学科の復活に向けて他校に無い分野の開発を求む。</p> <p>事務系については整備されているものの、教員に係る規定の整備に引き続き努力願いたい。</p>	<p>2.5</p>
<p>【基準3】 教育活動</p>	<p>建築系の専門性に係る研修としては、建築(構造・設備)に於いて法律が変更されるケースが多い事で、それらを中心に研鑽されている事は理解しました。ただ専門性は、既存のものでなく、先程のコネクティッドホームにもありますようにIT分野までに視野を入れて頂くとは類なき強みとならないでしょうか。是非とも、前向きなご検討をください。</p> <p>また機械系の専門性に係る研修では、IoTを中心に情報社会で求められているものに取り組みされているようですので、現状のカリキュラムとの整合性の中で、推し進めてください。また教授力の把握は、これまで通りに『授業評価アンケート』を有効活用して頂き、そこから読み取れる力量不足を洗い出し、それに適合した研修への取り組みをお願い致します。</p> <p>教員の専門性や教授力を向上させる為、学内研修会等を大いに役立てて頂きたい。</p> <p>教員の専門性を向上させる研修を組織的・計画的に全教員が等しく参加できる機会を設定しようとしており、また構造・設備に関する法的改正に対応する為の研修会に参加する姿勢は良いと思います。</p> <p>既卒者によるリカレントをもっと充実させてはどうか。</p> <p>個々の教員の専門性、人間性、教授力等の把握や評価の面に於いては問題なく対応されているが、良き点、俵うべき点の横断的な展開が出来るよう努力願いたい。</p>	<p>2.3</p>
<p>【基準4】 教育成果</p>	<p>貴校が設定されている就職率等の数値が高いのか、一般的に見れば決して悪くないと思います。ただ現状認識の中で、キャリアデザインの構成やクラス担任との情報共有が不足しているのであれば、改善をして頂き、学生の能動的な動きを促すように進めてください。また、企業にとれば採用をしてもミスマッチによる離職は看過できないので、学生には、企業内研修(インターシップ)を最大限に活用して、仕事の本来像を是非とも見て頂きたい。</p> <p>全ての目標が下回る結果となったことは非常に残念である。課題に挙げておられるキャリアデザイン授業の構成、担任との情報共有強化については、解決に向けて是非とも取り組んで頂きたい。</p> <p>学生からの進路活動報告を徹底し、進路支援室が集約し、日々更新・発信する事により最新情報が共有されている。就職を希望しない学生が増加してきており、多様な進路に対して、学生が能動的に進路に取り組めるよう支援している事は素晴らしい。</p> <p>資格合格者の把握に努め、学校としての実績づくりを推進して頂きたい。</p> <p>就職内定率、進路活動率については、若干未達であったものの概ね就職に関する目標は達成されている。今後とも学生、担任、進路の間にコミュニケーションが必要と史料する。</p>	<p>2.5</p>
	<p>就職や進学指導に関して、専任職員を3名配備し就職ガイダンス等に取り組んでおら</p>	

<p>【基準5】 学生支援</p>	<p>れ、実績を積み重ねられている事は評価に値します。ただ新型コロナウイルス感染症の流行により、春季のインターンシップが中止になった事は、貴校だけでなく社会全体に様々な影響を与えた事と思いますが、何とかカバーして学生の進路活動の礎となつて頂けますようお願い致します。</p> <p>適切な進路活動支援体制が構築されている。引き続き、支援プログラムの見直しを実施して頂き、更に体制を強化して頂きたい。</p> <p>基礎学力向上プログラムを更に強化している。文章力・語彙力を新聞や読書を通じて能力形成を図っている。コロナ感染症による影響を考慮し、学校・校友会から学生に対し、学習機材や金銭面での支援を行っている。学生の立場に立って良く対応されています。</p> <p>進路支援体制は確立されていると思われる。今後は、学生一人一人の個性に応じた職種や企業規模、社風などについて重ねたコミュニケーションを図ることが大切と史料する。</p>	<p>2.8</p>
<p>【基準6】 教育環境</p>	<p>事業計画に基づき、情報処理室(2教室)を整備された事を確認しました。また整備する上で、学生の要望も取り入れた内容(中間モニター設置)にされた事は、評価に値します。これからも、学生達の意見や要望に耳を傾ける学校であってください。</p> <p>防災啓発(講習会)が、2019年度も計画をしていたが、天災等の事情により、2年連続で開催が中止になったのは残念ですが、懲りずに次年度も計画をして、開催に結び付けてください。</p> <p>企業研修においては、既に新型コロナの影響が出ているとの事である。今後は、「新しい生活様式」を意識しつつ教育体制についても全面的に見直しが必要ではないかと感じた。</p> <p>学園内のネットワーク・PC機器のメンテナンスには、専属教員が配属されており、施設・設備のメンテナンスには、営繕担当が対応している。PC機器やシステムの更新は、中期計画に基づき確実に実施されており、これからも継続してお願いしたい。</p> <p>校友会が主催していた「海外研修」の再開に向けた「危機管理マニュアル」の作成が求められる。</p> <p>マニュアルの作成など防災体制は整備されているものの、学生や全教職員に対する周知徹底が必要である。</p>	<p>2.3</p>
<p>【基準7】 学生の募集と受け入れ</p>	<p>2019年度の学生募集に於いても、建築系・機械系ともに概ね堅調であり、入学者アンケート調査でも高い評価を得ていることで学校の安定度を更に感じられます。また学科の再編で設備環境デザイン学科を廃止し、建築学科に設備コースを設置するのは賢明のように思います。なおコース内容も「配管技能士」を目指すものと「給排水/ガス/電気」の知識と技術を習得するものに分かれており、これまでの学科の要素を残しておられるのは良い事だと思います。</p> <p>募集定員を満たせていない学科の学生募集を停止するなど、適切な対応が取られている。今後も学生の応募状況を見ながら各学科の統廃合を進めて頂きたい。</p> <p>ホームページやガイドブックが非常に充実したものとなっており、分かり易い授業風景や学生の生き生きとした様子が描かれているのは評価できる。</p> <p>一部の学科については、定員を満たせていないが、建築学科内に新しいコースを設ける等、学生や社会の要望に応えるべく努力されている。</p>	<p>2.8</p>
	<p>引き続き、長期の負債もなく安定的な財務運営が行われており、学校単体だけでなく学園全体の黒字決算を維持して頂きたい。</p> <p>校舎老朽化の修繕対策を適切に計画・実施している。タイル剥離、LED化、空調機</p>	

【基準8】 財務	<p>入替、屋上防水など。電気代のコスト軽減策、清掃業務の外部委託についての財務改善策を行っている等、非常に安定されている安心である。</p> <p>例年、会計監査が適正に実施されており、財務内容も全く問題ないと思料する。</p>	3
【基準9】 法令等の遵守	<p>教職員による法令遵守はもとより、学生等に対しても身近な何気ない行動が社会的な責任を負わされる事を注意事項として『学生便覧』に記載する等の工夫もされており、意識の高さが伺われます。</p> <p>教職員や学生等に対する法令や専修学校設置基準等の遵守の啓発活動が十分ではないようなので引き続き検討頂きたい。</p> <p>一般常識的な法令遵守は当然としてあるが、今後はBCP・危機管理・リスクマネジメントを各種法令と連動しての探求が長期的に必要な時代となると思われるので、それに対応するよう検討して頂きたい。</p> <p>学生便覧を刷新され中身も非常に見易いと感じた。法令遵守については、定期的な啓蒙活動を根気よく継続していく事が肝要と思料する。</p>	3
【基準10】 社会貢献	<p>実践力を養う一番の方法としては、企業等と連携(コラボレーション)しながら、机上でない現実のものを目の当たりにしながら試行錯誤して行く経験が何よりです。</p> <p>中国から来られたローソンの社長に対する店舗提案は、国際的視点からも良い経験となり自信にもなります。是非とも先生方のネットワークを最大限有効活用して、これからも、そう言った機会を学生たちに与えてあげてください。</p> <p>行政機関、民間企業、周辺施設等との連携・交流が図られている。更なる交流を深めていただきたい。</p> <p>大工技能学科の学生が授業の一環で製作した造作物を自治体へ寄贈し、各地域で喜ばれているようなので、継続して頂きたい。</p> <p>貸し教室や研究発表会への会場提供など地域社会貢献活動にもシカッと取り組んでいる。</p>	3
【基準11】 国際交流	<p>出入国管理庁の就労ビザ認可基準も少しづつであるが緩和された影響もあり、外国人留学生も以前と比べて、様々な分野に進学する傾向もあり、これまでのように一辺倒に工業分野へ集中する事もなくなりつつある状況を理解しました。そう言う事であれば、日本国が得意としてきた「モノづくり」の原点に立ち返り、精密な技術力の習得を掲げ強力な就職力になる事を上手く伝達してあげてください。そして、将来に向けて国際的に評価が得られる学校を目標にしてください。</p> <p>外国人留学生の受け入れについては、計画的に行われているようなので、今後は体制を整備頂きたい。</p> <p>外国人留学生の活躍の場として、学内での語学やパーティの実施を行なう等のコミュニケーションも図れている事も良い事と思う。</p> <p>外国人留学生の受け入れについては、法的な問題だけでなく、異国文化や習慣の問題もあり、専任職員の経験値を高める等、受け入れ体制の更なる整備が必要と思われる。</p>	2.3

※尚、上記の意見と評価は、委員会当日(9/4)に出席されました評価委員の皆様方から、後日、別途改めて頂戴しました評価表を集約し、纏めて記載しております。